

## 平成 23 年度第 1 回図書館利用者懇談会（本多図書館）

日 時 11 月 18 日(金)午後 6 時～7 時 30 分  
場 所 本多公民館 集会展示室  
参加者 市民 1 人

国分寺市立図書館の現状と今年度の事業予定について

配布資料「22 年度図書館統計」「国分寺市の教育（抜粋）」「図書館評価（運営協議会案）」「図書館だより 83 号」に基づき説明。

意見：質問は特にないが、図書館だよりがなかなか出ないので先に駅前分館で問い合わせた。

図書館：12 月 1 日に出版。

意見：光をそそぐ交付金で情報提供である図書館だよりを出してもよかったのではないかと。今日の懇談会に参加するよういろんな団体に声をかけたが、ビラの配布のほかにもっと啓発をすれば市民が集まってくるのではないかと。利用者でもっと知ってもらえるようにするためにも図書館だよりの間隔があいてない方がいいのではないかと。市民はその場でクレームを出してその場でフェイトするからそれで終わってしまう。図書館を利用したい人はたくさんいるが利用者がいろいろ意見を言うことが世の中少なくなってきた。一冊の本に予約が集中する人気のある本は多く買ってもブームが過ぎると見向きもされない。利用者の動向が変わってきている。図書館運営協議会の方々もどう考えているのか。

図書館：了解点がどこなのか、共通理解の指示があればいいが。自分の希望を満たすためにくるので運営協議会や懇談会では難しい。利用者アンケートを取る計画がある。投書や苦言だけでなく図書館全体の意見をお聞きしたい。

意見：国分寺市は図書館がしっかりしているしスムーズにしている。市民が大局的にものを考えられない傾向がある。

図書館：光をそそぐ交付金は各館 35 万円。ロングセラーの本を新しい本としていつも手にとれるようにしたい。今は新刊を買うことに予算が使われている。図書館だよりは年 2 回でお金がかかっていない。来年度予算の時期である。震災と不況で厳しい状況にある。光をそそぐ交付金でブックリストを作った。これで 0 歳から中学生まで、A 5 版で 6 種類完成した。

意見：電子図書について、普段読めない本をネットで売っていて携帯電話やパソコンで見ている現状がある。閉架書庫にある本の展示がいい。埋もれている本が見られていい。古本屋めぐりをしているが、本当に読みたければ自分で買えばいい。古い本はきれいに揃っているのがいい。人それぞれ読む本が違うが一時的にブー

ムが生じる。限られた予算の中でリクエストするととってくれるので図書館としては相当優れていると思う。

図書館：気持ちよく便利に使ってもらえるよう対応したい。調べ物の本や辞書類は借りられなくなりインターネットで調べている。大人は両方知っているが子ども達はバランスが崩れている。

意見：アナログがデジタル化している。

図書館：参考資料室の辞書等はよく触られている。調べ物のところには若い方があまりいない。紙の領域のみでは図書館もいけないのではと思う。しかし電子図書に対しては、座席を増やしたりパソコンをもっと入れたり の対応はしていけない。

意見：図書館は蔵書が増えることの方がいい。活字の本がいい。ICタグを貼っているがどの程度まで終わっているのか。

図書館：本多・恋ヶ窪は終わって、今年度は並木図書館である。5年計画である。電算システムが丁度切り替えになる時までに貼付が終了し可動システムを入れれば可能になる。

意見：図書館の分野では文教地区です。是非このまま保ってってもらいたい。あらゆるニーズにこたえなくてはならない。よくこたえてくれている。

図書館：見えないところでの在庫のメンテナンスをしていかねばならない。他になれば、本日は終了する。ありがとうございました。

# 平成 23 年度第 1 回 国分寺市図書館利用者懇談会（光図書館）

日時 平成 23 年 11 月 22 日（火） 午後 14 時～15 時 45 分  
場所 光公民館 小会議室  
参加者 市民 2 名

## 1. 国分寺市立図書館の現状等について説明

配布資料に基づき、利用者懇談会の経緯、東日本大震災が自治体および図書館に及ぼした影響、ICタグ、児童の諸活動（ブックリスト・お話し会）、都立多摩図書館の移転、国分寺駅前再開発、光の夜間開館、仕事コーナーについて説明。

## 2. 図書館サービスについて

意見：光図書館の雑誌の配架について。新刊雑誌の表紙が見られるように並んでいるのはとても見やすく評価している。しかし、立て掛けた雑誌の下が斜めに反り返っているのも、厚みの薄いものなどは痛みそうで心配。雑誌の保存期間はあるのか。

図書館：新刊の置き場所は、ストッパーがかなり手前にあるので、立て掛けた雑誌が前にずり出てしまう。これを解消するために角材を貼ったりしているが、完全でなく申し訳ない。雑誌の保存期間は、基本的に月刊で2年間・週刊で半年。雑誌ごとに異なる。

意見：以前の意見に対し、消臭剤を使って対応してくださり、ありがとうございました。今日は数点申し上げたい。まず、国分寺の図書館の場所だが、ここ光図書館は坂道の上で、お年寄りや来るのが大変だ。実際のアクセスを考えると、市には図書館のないエリアが存在すると思う。次に、地域センターの図書室と、市立図書館の連携についてお願いしたい。第一に、市立図書館の本を地域センターで貸出返却できるようにならないか。第二に、市立図書館では130人予約のついていた本が、西町地域センターでは在架状態だった。連携して資料を有効に使うことができないか。予算の関係などもあると思うが検討してほしい。次に、地域資料の活用について、立川市立図書館では掲示板に新聞切り抜きのコピーを貼って公開している。こういう他の図書館の良いところを受け入れてほしい。次に、質問だが、利用者はみんな返却期限を守っているのか。

図書館：100パーセント守られているわけではない。利用しなれている人イコールマナーを守って使う人ではない。たまに来て借り出して、あとはそのまま借りっぱなし、という人も増えた。本の汚破損状況を見ていると、昔より大事に扱われていないのかなと思うことがある。

意見：利用期間2週間というのが短いのではないかと。国立は3週間だ。個人的には、2週間だと急いで読もうと自分にはっぱをかけられるのでそれはそれでよい。

図書館：2～3日の延滞ならばよいが、私物化されて困ることもある。

意見：ICタグが問題の解消に役立つことを期待したい。本が大事に扱われていないそうだが、実際に水にぬれてダメになった本を掲示してはどうか。

意見：別件だが、ご意見箱とその回答欄は見えにくい。

図書館：場所がないので、申し訳ないが現状のようになっている。

意見：CDは所蔵一覧があると便利。高齢者は喜ぶのではと思う。また、AVブースがあると、ちょっと気分を変えたい時などに使えて便利なのでうれしい。ひかりプラザの視聴覚室は、市民をあまり歓迎していない雰囲気。利用者もいないのに、管理者だけはたくさんいるようだが、どんな仕事をしているのだろうか。市民に開放するべきだと思う。

図書館：市役所の庁舎が耐震問題で使えなくなり、組織が分散してしまったため、市の建物がいろいろな用途で使われている。プラザはそもそも市の教員が勉強に使う施設だったので、対応にズレが生じたのかもしれない。話は戻るが、地形により利用者に不便を強いているのは確かである。地図の二次元で見ると適当な場所に図書館があっても、実際に三次元で歩くと行くことができなかつたりする。AVブースの設置については、「滞在して読む」より「持って帰って読む」図書館づくりをしているので、そのような設備が充実していない。本音では多少の試聴くらいは提供できるようになりたい。補助金でスタンド式試聴機を検討したこともあったが実現しなかった。

意見：都立多摩図書館では、試聴を申し入れるとCDラジカセとイヤホンを貸してくれる。大げさな設備でなくとも、方法はあるのでは。

図書館：貴重な意見に感謝する。市の施設同士の連携について、内藤地域センターや西町地域センター、女性センターは管轄が異なり、連携があまりとれていない。購入する書籍の相談くらいはのっているが、具体的な活用などはまだ発展の余地がある。

意見：女性センターといえば、デスクがあるのに採光が悪い。利用者目線に立っておらず、非常に不親切。ここでは読むなど言われているようだ。税金を使った施設であるのに、残念だ。

図書館：貴重な意見に感謝する。

意見：AVブースは利用に制限時間を設けてはどうか。

図書館：制限は設けている。現在は1度の申し込みにつき2時間である。2時間が多いか少ないかということについては現在はこれでうまくいっているという認識。利用者用インターネット端末は、利用が多く予約待ちになるので、30分と短めの利用にさせていただいている。

意見：新刊の選定基準のようなものはあるのか。どのように選書しているのか。

図書館：選定基準がある。市で作成したもので、図書館HPからもご覧いただける。選

書の方法だが、5館の職員による会議で決めている。一般書の選定会議は週1回行っている。取次店に新刊が全点掲載されたカタログを納品させている。推薦されている本を機械的に買うのではなく、出版物を網羅的に見て、年2万点ほど購入している。このように、図書館が選書して購入するものと利用者からリクエストされて購入するものがある。もちろん、ダブることもあるので調整している。リクエストが集中すると、全館で20冊程度蔵書することもある。しかし、基本的には、広い収集を目指して、複本をそろえるよりはタイトルを増やすほうに力を入れている。そのため、全館に1冊しかない本も多い。児童書の選定会議は2週間に1回のペースで行っている。こちらは、カタログではなく、現物を仮納品させて選書している。

1冊ごとにレビューシートを記入して評価し、全館で話し合いながら選書している。

意見：光図書館はトイレがきれいでありがたいと常々思っている。

# 平成 23 年度第 1 回 国分寺市図書館利用者懇談会（もとまち図書館）

日 時 平成 23 年 11 月 27 日（日） 午前 10 時 30 分～12 時  
場 所 もとまち公民館 会議室  
参加者 市民 12 名（男性 4 名・女性 8 名）

## 1. 国分寺市立図書館の現状等について説明

配布資料に基づき、図書館だよりの説明、図書館運営協議会の経緯、平成 22 年度図書館統計、「国分寺市の教育」掲載事項、国分寺駅北口駅前再開発にかかわる図書館、市内に移転予定の都立多摩図書館、図書館評価、子ども読書活動推進計画、地域生活に光をそそぐ交付金、緊急雇用対策、光図書館および全館の夜間開館等について説明。

もとまち図書館としては、東日本大震災での被害がなかったが講演会が中止となったことの報告。地域生活に光をそそぐ交付金では、道路側の窓のカーテンの取り換え、児童コーナーのイス、ブックトラック 2 台、大型絵本書架、講演会用マイクの購入と、絵本・辞書などの図書を購入した。

## 2. 図書館サービスについて

意見：図書館だよりは年に 2 回発行では頻度が少ないのか。

統計によると貸出冊数の市民一人当たり 9.7 冊だが、どう評価できるのか。

図書館：図書館だよりは市報とともに全戸配布しているので年 2 回になる。

貸出冊数は多摩地区の中では上から 7 位となっており、利用が多いと言える。

意見：この地域のもとまち図書館の利用はどうなっているのか。

図書館：もとまち図書館の担当地区では南口エリアの東元町 1・2 丁目は利用が多い。

西元町、泉町の西国分寺エリアでは坂の不便さがある。

意見：選定についてはどのように行っているのか。お薦めの本があるのか。

市民からのリクエストもあると思うが。

図書館：毎日発行される本のリストでの選定と予約の本を受け入れている。予約の図書が 3 分の 1 ぐらいである。全館で選書会議をし、選定している。もとまち図書館はそのうちの約 5 分の 1 を所蔵することになる。

意見：東元町在住でも他館で貸出しをすると統計はどうなるのか。借りた館でカウントされた場合、もとまち図書館での貸出数は増えないが、統計の貸出冊数の数字は妥当といえるのか。

図書館：他館の貸出冊数としてカウントされる。貸出冊数を館同士で競わせているわけではなく、市全体としてサービスを考えている。むしろ町丁名別の登録率の方が問題になっている。

意見：利用率でみられると、経費が回ってこないことが一番心配。資料購入の予算は

きちんと案分されているか。運営費で手一杯であれば、図書を購入するお金が出ないのではないか。

図書館：資料費は金額を決めて各館に予算配分している。図書費は3,000万円を割り込んでいる。今年度は震災対応に回すため全館で2,600万円になる。課長と各館長とで各図書館のスペースの広さ、書庫、利用の多さを勘案して決めている。もとまち図書館は460万円の予算。うち27パーセントを児童書の購入費に充てている。様々な分野を幅広く選定するようにし、入手が難しい本も購入している。

意見：子どもの本に関係した講演会では、いつもとても良い講師を呼んでいる。少ない予算の中でよく努力していると思う。

意見：運営協議会（以下運協と略す）での図書館の評価がどのようにされているのか。アウトソーシングが心配。

図書館：運協の評価とアウトソーシングは連結していない。市民の方に図書館の全体的な評価をしていただくことが大切なのではということで、運協で評価していただいている。教育委員会でも運協の評価に重きをおく方向に考えている。市役所の行政改革推進本部がコスト削減のために民間委託ができる事業を選び、現在図書館でも委託が可能なものを出すよう急かされている。

図書館事業についてはアウトソーシングの導入の方向となっているが、市民サービスの維持・図書館の発展を考えると慎重に審議が必要であると教育委員会は考えており、委託は難しいのではないかと考えている。実施を前提としたアウトソーシングの案（規模と計画）を提出するようにいわれているが、難しいところである。サービス低下もあるので、「直営で」という陳情を出していただいている。

意見：利用するのにマイナスにならない運営がされていけば、普通の市民からは反応が出てこない。一市民として、委託化に対しどのような方法で関わっていくのか考えていくことが必要だ。慎重に取り組んでいく必要がある。

意見：カウンターは本を貸すだけと思っている人が多いが、委託をすると、貸出しのみで参考業務ができなくなってしまう。委託社員は会社に雇われているので、契約違反になるため職員からその場で直接話をするできないということがおこる。労働時間やサービス内容は契約した業務しかできない。そのような内容を知らない市民の方が多い。今までは、職員に直接話をし、サービス内容が少しずつ良くなってきているのに、委託にされたら困る。

意見：民間委託の対象職場となっているのか。

図書館：市の意向は民間に委託したいと決まっている。指定管理も含めて民間委託が考えられている。市議会に委託の報告はしているが、議会で認められてはならず、確定はされていない。

- 意見：経営的にみて、委託になって欠陥が見えてこないと意見が出しづらい。小さい職場の中で仕事を区分けするのは難しいのではないか。
- 意見：3月11日に東日本大震災の当日に市外の図書館にいたところ、本が落下してきた。帰宅も困難になった。震災時の職員の緊急対策のマニュアルはあるのか。
- 図書館：もとまち図書館と公民館の合同マニュアルがある。
- 意見：交通が麻痺して帰れなかった時に、食糧・毛布などはあるか。
- 図書館：もとまち図書館には食糧・毛布はない。学校が第一次避難所となり食糧・毛布などを置いている。
- 意見：閉じ込められたことを想定して考えておいてほしい。また、東北に対して図書館で本の寄贈など支援を行ったか。
- 図書館：市の図書館で本を寄贈することは行っていない。宮城の多賀城市から市役所に職員派遣の応援要請があった。主に住民登録関係や補助金の関係で職員が支援した。本の寄贈に関する問い合わせにはNPOを紹介している。
- 意見：5館の図書館が連携をされていて、サービスが良くできているのに、指定管理・委託は絶対反対である。
- 意見：年間8万冊近く出版されていて、図書館全体で60万冊しか収納できないが、除籍をする時のルールはあるのか。せっかく用意した本を除籍するは勿体ない。
- 図書館：貸出量が減れば今よりも除籍しないと難しい。時事的な本は処分するが、名著でも利用頻度が少ないがために除籍せざるを得ない時もある。そのようなことにならないよう運営しているつもりである。
- 意見：今までのように、カウンターで不服も文句も言えるようにしておいほしいと思っている。また、洋書や英字新聞をおいてほしい。休館日は必要だと思っているが、月曜日に公民館で集まる時に、ついでに本が借りられればと思う。
- 図書館：洋書は購入計画があり、現在は本多・光で購入している。将来は全館購入する予定。また英字新聞は1紙購入しているが来年度も維持する。休館日については、祝日とは重ならないように設ける議論をしている。
- 意見：先ほど委託になった場合の事例を聞いた。委託によって図書館と市民が話し合いながらつくってきた歴史が切られることもある。一方でただ本を借りられれば良いという人も多いと思う。委託の実情を市民が知る機会をつくれなにかと思う。
- 意見：新聞の書評で見た本が所蔵していなかった。リクエストの本の購入はどうしているのか。
- 図書館：リクエストを受けた館で、購入するか、他から借用するか検討している。新刊はなるべく購入している。購入が難しい場合は、他市や都立で借用している。4,000円以上の本については選書会議に持ち寄り、全体で決定しているのでタイムラグが生じてしまうこともある。購入する場合でも3～4週間はかかってしまうので、新刊ですぐ所蔵するのは難しい。また複数館に同じリクエストが

きた場合には、限られた予算で、図書の種類を少しでも多く購入したいので調整をしている。

意見：調べたいことを相談したら、大阪市から本を取り寄せてくれたり、本を本棚から出してくれた。

意見：自分で本棚から本を見つけることを幸せに思い利用している。職員には聞かず、インターネットで調べて所蔵している図書館に行って利用している。データで「閉架」となっている本があるが、しまわれてしまい、いつかは捨てられてしまうのではないかと心配している。

図書館：やはり利用回数をみて除籍することは多い。概論的な本は本棚に出しておくが、専門的な本は閉架になってしまう。書架も書庫も満杯なので、購入した分だけ捨てなければいけない状況になっている。但し、児童書は都立図書館から借りることができない本は、市内1冊は保存するようにしている。

意見：小学校に職員が出張して読み聞かせをおこなったり、読み聞かせをしているお母さんの相談にのってもらっている。それ以外にも、本の表紙を見せて展示してある本はお薦めの本と友人のお母さんに教えた。職員に聞きにくい人もそうした本を借りていけるので、職員がいてほしい。委託の場合、金額で入札して、決定してから慌てて人材を探し回ることもあると聞いているので、委託はしないでほしい。

意見：テーマを決めて蔵書の棚をつくることに市民を入れてほしい。借りる人の立場の視点が入ると思う。

意見：地域には図書館がなくてはならないものだ。図書館広報についてもっとPRして良いと思う。年4回の自治会だよりで掲載しても良いのでは。

## 平成 23 年度国分寺市図書館利用者懇談会（恋ヶ窪図書館）

日 時 1 月 21 日 (土) 午前 10 時 30 分～12 時  
場 所 恋ヶ窪図書館 2 階 おはなし室  
参加者 市民 4 人

### 1. 国分寺市立図書館の現状と今年度の事業予定について

#### 利用者懇談会

- ・5 年ほど前から、年に 1 度は各館といずみホールで行っている。

#### 恋ヶ窪図書館の補修・改築・移転について

- ・一昨年耐震補強工事を行い翌年震災が発生。地震対策しておいてよかった。

耐震に合わせて、閉架書庫の設置・トイレの改修・お話室の整備をした。書架・書架の老朽化の問題がある。築約 40 年の建物なので建て替えを考えなければいけない。市の長期総合計画でも恋ヶ窪公民館・図書館等の移転・改築が課題。現実的にはスケジュールが見えないので、当面補修しながら維持していく。

#### 都立多摩図書館市内移転について

- ・平成 28 年に国分寺市泉町の都立公園に移転。約 9 千㎡の建物との予定。近くに図書館がない場所なので、国分寺市民に貸出等の利用が可能かとの要望が市民から出ている。東京都としては立場上、地元の地域だけ特別扱いはできないとのこと。現在この地域には、返却だけはいずみホールにブックポストを設けているが、利用がとても多い。都立図書館設置で市民サービスにつながるできないか、東京都と交渉中。

#### 東日本大震災後の対応

- ・新年度の予算成立が 6 月に延び、成立予算で市は地震対策に大幅に予算をつけた。図書館は図書費が削られ、市の地震対策の設備投資などに回されたことになる。図書館は連休明けまで節電で夜間開館を中止していた。

#### 現在の図書館の状況

- ・電算システムは 5 年契約のリースとなっており、入れ替え時期（平成 25 年秋）に合わせ、IC 対応システムへの切り替えを予定している。IC の利点は、貸出返却だけでなく蔵書点検を簡単にできる等も考えられる。
  - ・CD の研磨作業を国からの緊急雇用補助で各館順番に今年度は行っている。
- ・同じく国の交付金で、4～6 歳を対象としたこどもの本のおすすめ紹介冊子を作成。他に以前作成した小学生向けリストなどもあり配布中。同じ交付金で恋ヶ窪図書館ではソファを購入。また補助金ではなく手刷りで、国分寺市を知るための本のリスト（小学生向け）を作成。以前から収集している地域資料の蔵書のリストで、今

回は小学生にも読めるもの。

子ども読書活動推進計画について

- ・図書館が事務局となり、市の読書推進計画を作り他課とも連携して、5年計画で実施中。学校や親に対して案内・啓発・アドバイスなどを行っている。この部屋で普段は読み聞かせなどもしている。最近若いご夫婦が熱心で、小さい子向けのお話会が賑わっている一方、小学生の参加は減っている。大人の方への整備は、本の種類を増やす、基本図書がよく利用され傷んでもいるので買い替える、スペースを広くするなどしたいが対応できていない部分がある。市の財政状況は厳しく予算確保が難しいが努力中。希望の本の提供が遅くなり苦情もあるが、極力要望に答える努力をしている。

## 2. 質疑応答

意見：リクエストの多い本は何冊くらい入れますか？直木賞・芥川賞などは？

図書館：リクエスト数による。最大で各館5冊くらい。直木賞などは賞が発表された段階で各館2冊ほど入れ、以後リクエストに応じて足していく。

意見：配布された統計資料の読み方について、登録者数累計とは？

図書館：登録者数は新規に平成22年度に登録した人数。累計は過去からの合計。

意見：登録者数は図書館としては多いのか？

図書館：市民の40%くらいという登録者は多摩地域の中では、普通くらい。

意見：とても多いと思う。

意見：いや、私は反対に文化水準の高い地域としては少ないと思う。

図書館：登録はゼロ歳からでもできるので、もっと多くてもよいと思っている。

意見：国分寺市の図書館の配置について。駅に近いところに欲しい。国立市は駅にブックポストがあるので便利。

図書館：いずみホールのブックポストの利用は、返却だけですが大変多い。

意見：交換便について教えて。

図書館：(図書館間を毎日配送している交換便の説明)

意見：利用者として、交換便は税金を無駄にさせているのではと思ってしまう。リクエストの電話代も申し訳ない。

意見：地域センターの図書室や学校図書館との連携は？

図書館：以前求められて地域センター図書室の選書のアドバイスをした。主に小学校とは学級文庫の貸出しや調べ学習・読書教育の支援もしている。学校図書館から図書館蔵書の検索・依頼ができるシステムが入った。

意見：来年度予算は減るのか？

図書館：市は借金追加の回避、駅前開発財源の確保等のため、図書館だけでなく、全体的に予算規模の抑制を図っている。図書館はなんとか図書費の削減幅を小さくできよう努めている。新刊書購入、リクエスト対応や古い本の買換えができなくなる恐れ、児童図書は読み継がれるロングセラーの買い替え・整備が必要だが、そういった対応が難しくなる。

意見：図書購入の選択基準は？誰が決めているのか？

図書館：職員のチームで決めている。文章にした選書・除籍基準がありホームページで公開している。選書・購入はデータの新しいもの、役に立つもの、面白くて求められるものが中心である。予算内で新刊本とリクエスト本でいくら使えるか考え、利用頻度が多いか、価格はどうか、借用できるかを含めて選書している。発売後3ヶ月経つと他市から借用もできる。希望の本は提供するのが図書館のモラルと考えている。

意見：頼んだ本は全部用意して頂いていて、感謝している。何も不便はない。

意見：借用本に臨時にかけるビニールカバーが汚いので、何とかして欲しい。

意見：複写の申込用紙の記入はいらぬのでは？

図書館：図書館では、著作権法で手続きが義務付けられている。

意見：5円コピーにできないか？

図書館：コピー機のリース代・紙代の問題。安定的に市全体で決めている。

意見：汚い本が多くなったが、年に一回点検とかはできないのか？

図書館：確かに蔵書に傷んだもの汚れたものが増えてきている。申し訳ない。点検や取替は図書館がすべきこと。市のお金で購入している本を利用者へ渡す仲立ちを図書館は担っている。バランスよく快適に利用して頂けるように努めるのが役目だと思っている。

意見：図書館側で全部点検するのは難しそう。気がついた利用者が紙を挟むなどして汚れを知らせたら良い。協力依頼の広報をしたらどうか。

図書館：ありがたいこと。広報したいと思う。

意見：図書館で修理や補修はしているのか？

図書館：補修はしている。貸出利用が年間百万冊を超えているので丁寧な対応が難しい。

雨の日はビニール袋を配るなどの対策をしている。汚れて返ってきた本について利用者に聞いても前からそうだと、図書館の問題だと言われてしまうこともある。(利用者の二極化についての説明。)

意見：市民の不注意もあるので、もっと広報して欲しい。

意見：自分は利用者懇談会への参加は初めてだが皆さんは？(全員初めてとのこと)懇談会の参加状況は？

図書館：たいてい数人程度。「参加者が少ないからやめよう」とならないでいたい。都立移転の発表直後の会は参加が多かった。特別の話題があると来て頂けるが、図書

館は個人利用なので、なかなか集まっていただけない。

意見：懇談会の広報をもっとして欲しい。

意見：カウンターで「ありがとうございます」と言ってもらえるのがとってもいい。本を借りてこちらがありがとうと言う立場なのに。公民館も同じで大変気持ちがいい。全館で統一してやっているのか。恋ヶ窪図書館は規模の割に利用者数が多いと思う。かなり頑張っているようですね。

図書館：ありがたいこと。集客が多い割に規模が小さいので、自転車置き場等にも困っている。

意見：人と人との交流の場所が恋ヶ窪はない。本多・並木はそういう場所があつていい。そういう場所があり市民の交流に繋がってほしい。

図書館：そのことも考えて場所の選定をしっかり考える必要がある。恋ヶ窪は小学校の敷地に建っている。改築の時は必ず移転することになる。

意見：図書館に言ってもしかたがないことだが、館内でお話している御婦人に静かにしてほしい。携帯電話のマナーも気になる。

図書館：そうしたことも図書館の役割なので、言っただけであれば間に立ち、お互いが気持ちよく利用して頂けるように努めたい。携帯電話に関しては、掲示・声かけなどを行っている。

意見：このおはなし室は普段は空いているのか？管轄は図書館なのか？

図書館：図書館の管轄。学習室その他、利用者に開放・提供するには目が届かない位置にあり管理の問題もある。現在は図書館のおはなしの部屋、選書会議、公民館保育室などの使用で普段は空いていないのが現状。

### 3. 地下閉架書庫へ案内

## 平成 23 年度図書館利用者懇談会（並木図書館）

日 時 1 月 27 日（金） 午前 10 時 30 分～12 時  
場 所 並木公民館講座室  
参加者 市民 2 人

### 1. 国分寺市立図書館の現状と今年度の事業予定など

「国分寺を知るための子どもの本（小学生向け）」リーフレットの紹介  
利用者懇談会について

年 1 回各図書館といずみホールで開催し、話された内容を図書館運営協議会に報告

#### 都立多摩図書館の市内移転

泉町の公有地に平成 28 年に都立多摩図書館が移転してくる。市議会やいずみホールでの懇談会で、市民が貸出しを受けられないか、都へ要望できないか、話題になった。都立図書館は都内図書館のバックアップ図書館という位置づけ。市の教育委員会の要望を都に伝えに行っている。

#### 東日本大震災後の対応

市内の図書館は本が数冊落下した程度だった。多摩・町田・調布の図書館などでは、本が書架から大量に落下したところもあった。

3 月は予算の時期であった。急遽、市は 3 か月執行分だけの臨時予算を作り、6 月議会で年間予算が確定した。震災対策に資金を回した予算で、図書費が 2900 万から 2600 万になった。

地震以降、節電開館、夜間開館の 5 月連休明けまでの中止、計画停電による臨時休館を行った。

#### 今年度の市立図書館の状況

国の補助（光をそそぐ交付金）で図書館の設備交換、本の買換え、児童行事用品購入、子ども向けおすすめ本リスト冊子の印刷などを行った。緊急雇用事業で CD 研磨、IC タグ貼付、光図書館閉架書庫の都内重複本調査を行った。

9 時 30 分開館は定着したと思う。本多では雑誌・新聞などが目当てか開館を毎日並んで待っている状況。

どの館も書架が満杯で置ききれなくなっていて、本の引き抜きが課題。

4～6 歳向け、小学校中学年向けと高学年向け

#### 平成 22 年度図書館統計について

市立図書館全体で蔵書約 60 万冊、貸出し 114 万冊。並木は蔵書約 10 万冊。貸出し 21 万冊。

並木図書館長より館の状況について

4月に並木図書館へ人事異動で来た。新卒で9年間恋ヶ窪図書館経験、ただしコンピューターではなくブラウン貸出方式の時代だった。その後は福祉に移り、13年ぶりに図書館に戻ってきた。

「光をそそぐ交付金」で大活字本・医学・YA・ビックブック用書架を入れ、緊急雇用創出事業でCD研磨とICタグ貼付を行っている

2/4(土)に渡辺鉄太さんの講演会を2時から4時まで行う予定。

「もりのへなそうる」の渡辺茂男氏の長男。2/27(月)から3/1(木)まで蔵書点検のため休館。9時30分からの開館になって常連客が増え、午後には小・中・高校生の利用。土・日は地元ばかりでなく、車を利用しての遠方からの利用客が多い。

## 2. 質疑応答

意見：朝の開館を30分早めるニーズはあったのではないか。夕方の閉館時間はどうか。

図書館：市外通勤者通学者の平日の利用を想定するなら、夜は6時や6時30分への延長では不十分と思う。本多は平日夜8時までやっており、光も週一回だが8時まで始めた。本の提供も配送便が回っていて、利用に反映されている。

意見：貸出しが100万冊を超えて利用者が多いことは理解できた。いつもは駅前分館を利用している。見たい本を調べてもらい、「国会にあり、都立にあり」を教えてください、メモをもらえたのも良かった。ICタグも非常にいいことで、タイムリーに資料の所在がわかるようになる。パソコンで国会図書館をみると電子化されている資料もある。

図書館：よく調べないと、間違った本にたどりついたままのこともある。

意見：3館を利用しているが、光では平清盛関連の本が見当たらなかった。並木で展示があり、随分揃えてあり、素晴らしい。本の並べ方は、並木は小説とエッセイが一緒に並んでいて便利。常連だけでなく、新しい利用者を開拓してはどうか。図書館と公民館がタイアップして、公民館祭りの時に図書館を紹介してはどうか。もとまちでは、「図書館づくりの会」が公民館祭りに参加している。図書館をよく知ってもらうための努力を期待したい。アンケートを取ったり。

図書館：併設で公民館と一緒にあることをもっと意識的に考えたい。公民館は講座を企画するネタ探しや、講師選定にと、図書館が併設であることを活用しており、図書館は公民館を、何より集会スペースで当てにしている。しかしそれ以上の連携事業も上手にやっていきたい。これからも利用懇をよろしく願います。アドバイスもお願いしたい。

意見：利用懇は5人くらいは来て欲しい。

図書館：若い方の参加とか、世代の違う利用者同士が利用懇で同席し、それぞれお話しを出してもらえるといいですね。光では若い女性が来てくれています。

意見：光図書館にも行った。並木は二階に図書館がある。並木だけ図書館が二階になった経過も今日でわかったが、もっと利用者懇談会への参加の呼び込みを期待したい。

## 平成 23 年度第 2 回国分寺市図書館利用者懇談会（いずみホール）

日 時 2月2日（木） 午前10時～11時30分  
場 所 いずみホール 会議室  
参加者 市民5人 本多図書館長，担当係長

### 1. 国分寺市立図書館の現状等について説明

配布資料に基づき，利用者懇談会の経緯，東日本大震災が自治体および図書館に及ぼした影響，都立多摩図書館の移転，国分寺駅前再開発について説明。

### 2. 図書館サービスについて

意見：本多に住んでおり，相互利用により府中の図書館を利用している。DVDやCDが充実している。貸出期間が1週間なので国分寺市と同様に長くしてほしい。交渉してもらえないか。可能性としてどうか。

図書館：利用実績のやり取りをしている。市民相互利用は両市とも利便性があるから可能となっている。

意見：同じ条件で利用できるようにしてほしい。予算が逼迫しているのだから市を超えて活用すべきである。

図書館：提携している市の貸出条件を同じにしたいという要望は次の段階になる。一度決めた協定は解除にはなりにくいが，利用数に差が生じた場合は協議して条件が変更になることもある。小平市，小金井市からは相互利用の申し入れはあるが，市としては利用が一方的になるだろうと断っている現状がある。

意見：インターネットが発達して取り寄せができ，仕事をリタイヤした人は散歩がてらいろんなところに行けるので，近所に図書館をつくる必要はないのではないかと考える。予算がないのだから見栄をはって無理して作ることはないかと個人的には考える。他市に協力を仰いで条件を改善してほしい。

図書館：府中市や国立市との協定は，実績は国分寺市民に効果的をあげている。

意見：その分他市に必要なお金を払っても，お金をかけて図書館をつくる必要もない。他市提携を向上してもらえれば便利である。府中市民が税金を出した図書館だから優先されるべきだろうが，お金を払っても同じようにしてほしい。

図書館：図書館のないこの地域で利用者懇談会を開催するのは心苦しい。この地域に図書館がないのは課題だと認識している。

意見：コピー機を利用する時，用紙に記載することと料金が10円なのはどうか。府中市や武蔵野市は自由にできるのだからそうしてもらいたい。

図書館：著作権法に基づいて一定のチェックをしている。国分寺市は法に基づいてやっている。

意見：西元町に在住で子どもが3人いる。この地域に図書館を要望する。また、都立図書館に閲覧だけでなく貸出やリクエストサービスを要望する。小さい子連れも気軽に行けるところにあるといい。もとまち図書館には徒歩で30分かかる。子どもを連れて坂を下ったり上ったりは大変です。

意見：中央線の南側に図書館がないので不便。せめてリクエストした本が受け取れるようにしてほしい。定年後でも体力がなく足が悪い方もいる。この地域には図書館を利用したこのない方々が大勢いる。同じ税金を納めているのだから、せめて予約本を近くで受け取れるようにしてほしい。

図書館：図書館の機能として棚に並んでいる本を見て選べ、借りられるのがいいことだが、せめてこの地域では受け取れる場所があればと思っている。今は移転してくる都立図書館にスペースを貸して欲しいという要望をしているのが状況である。

意見：きめ細かい要望をくみ取ってってもらいたい。

意見：この地域に28年住んでいる。図書館は大好きである。市の政策の優先順位としては図書館は現実的には無理でしょう。割り切って利用している。読み聞かせ行事の紹介をされても近くにないため小さい子を持った親が便利に行けない。本は直接見て選ぶ出会いがあって読む方が良い。便利な場所であればどこにあってもいい。福祉に近い感覚でいて欲しい。

意見：市民も、ぶんバスを利用して出ていくとか歩み寄りがないといけない。

図書館：市内の平等性を考えると不平等である。

意見：この地域はマンションが増え子どもが増える。本当は図書館利用を体験しながら育っていくものである。

意見：5年後の都立多摩図書館を待っていても子どもは大きくなってしまってまう。当面の空き店舗とかいずみ健康センターの空き場所とか、近くで利用できる場所が作れたらいい。

意見：知恵を絞ってやったらいい。

図書館：市の財政状況ではこの地域に図書館を作るような議論は出しにくい。都立多摩図書館移転のことが出て、都への要望と焦点をあわせてきた。

意見：都に下駄を預けて待つのではなく、都営や公団の集会所を借りられないものか。

意見：保谷市は駅前図書館が空きビルに入った。市で借りてもらえたらいい。

図書館：予算があれば工夫もあるが今はどんなことも出来ない。この地域に図書館がないのは前から事実。都の移転で議会も動いてきた。

意見：この地域の子どもたちは特別な日しか図書館に行けない。学校が早く終了した日で晴れた日。雨だと危険である。

意見：都に交渉したということは、最低限の市のお金は必要ではないか。

意見：都立多摩図書館にはなにがあるのか。

図書館：主に雑誌と児童書である。都立中央図書館は一般書になる。国分寺市は都からリクエスト本を年間三千冊借りている。移転する建物の一部に市立図書館のリクエストを置ける棚と貸出返却のパソコン、検索・リクエストできる利用者端末が置いてシャッターが閉められるものをイメージしている。

意見：駅前分館は、市の建物なのか。

図書館：駅前開発で建て壊す建物で元銀行である。2階に市の都市開発部が入っている。駅前の利便性でリクエスト受け取りの利用が多い。

意見：文化的なことにお金を使わないのはどうか。

意見：命にかかわることではないからお金がないといわれると引いてしまう。

意見：都として地元市にだけ利益を与えるのは、理論的にはないのではないか。

意見：西国分寺地区に市の空きスペースはないのですか？

図書館：市の建物は今のところそれぞれの役割・目的があり成り立っている。

意見：小さなスペースでいいからこの地域に都立図書館を待たず、市のスペースを工夫していくことが可能ではないか。

図書館：いただいた意見は運営協議会に報告する。ありがとうございました。